

(目的)

第 1 条 この規程は、障害者基本法その他の法令の定めに基づき、石川工業高等専門学校における障害のある学生が、その年齢及び能力並びに障害の種別及び程度に応じ、十分な教育が受けられるようにするために、修学支援に係る基本となる事項を定めることを目的とする。

(定義)

第 2 条 この規程において、障害のある学生とは、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、内部障害、発達障害等の障害があるため、長期にわたり授業又は学生生活に相当な制限を受ける者で、本人が支援を受けることを希望し、かつその必要性を認めた者をいう。

(校長の責務)

第 3 条 校長は、障害のある学生が修学における不利益を受けないよう配するとともに、障害のある学生の修学等支援方を推進する責務を有する。

(教務主事及び学生主事の責務)

第 4 条 教務主事及び学生主事は、校長の命を受け、当該部局の障害のある学生が修学における不利益を受けないよう、具体的支援方策等を講ずる責務を有する。

(教職員の責務)

第 5 条 教職員は、当該部局の障害のある学生が修学における不利益を受けないよう配するとともに、障害のある学生の修学等支援方策の実施に対し積極的に協力するよう努めなければならない。

(支援チーム)

第 6 条 教務主事及び学生主事は、障害のある学生がいる場合、学生相談室長と連携のもと、支援チームを設置する。

2 支援チームに関し必要な事項は別に定める。

(予算上の措置)

第 7 条 校長は、この規程の目的を達成し支援を遂行するため、必要な予算措置を講じるよう努めなければならない。

(事務)

第 8 条 障害のある学生の支援に関する事務は、学生課において処理する。

(補足)

第 9 条 この規程に定めるもののほか、障害のある学生の支援に関し必要な事項は、校長が別に定める。

附 則

この規程は、平成 27 年 4 月 8 日から施行し、平成 27 年 4 月 1 日から適用する。